



M A S 監査の概要

M A S 監査とは、「中期経営計画策定」および「単年度経営計画策定」にて作成した行動計画が実行され数値計画が達成されるための支援として、毎月M A S 監査担当者が訪問して予算や目標と実績との差異の要因・原因を経営者と共に検討し、コメント・アドバイスをします。

具体的にはM A S 監査業務は、以下の3つの業務からなります。

予実管理表・損益資金予定表の作成

～ 予算と実績の差異、また今後の見通しを数値で表します～

単年度経営計画で立てた数値目標と実績との差異を「予実管理表」という形でわかりやすく説明します。予算と実績の差異をとらえる事により、達成できた要因、達成できなかった原因をより検討しやすくなります。また、実績値から今後の損益予測・資金繰り予測をし「損益資金予定表」を作成します。「先」を見る事により計画的に利益対策・資金対策の手が打てます。

M A S 監査訪問

～ 毎月担当者が訪問して経営者や幹部と面談をします～

「予実管理表」や「損益資金予定表」のデータを元にして、1年を通じた経営改善計画の要因や原因を社長や幹部と共に考え、問題の特定をし、その問題の検証に関わります。その内容が専門的で特別な経験等が必要な場合があればそのブレンを紹介する事も出来ます。

社内会議等に参加して専門家の立場から情報提供したりコメントしたりします。第三者が参加する事により社内だけでの問題検討よりも客観的意見を採用入れる事が出来ます。

M A S 監査報告書の作成

～ 「M A S 監査」での検討内容を文書にして送付します～

M A S 監査での検討事項・決定事項を「M A S 監査報告書」にとりまとめ、文書としてご提供します。M A S 監査での決定事項がその場で言ったきりにならないように打合せ事項・決定事項を文書にしてご提供することにより、新たに立案した行動計画が実際に実行されたかどうかの振り返りが出来ます。